



秋田大学教育文化学部附属小学校 校 報

はとの子だより

No.15 令和8年10月2日(金)発行

学校教育目標 自律 のびのび きびきび わくわく

社会のルールを守り、正しく生きる力を育むために ～防犯教室を開催～

9月25日(金)に、秋田中央警察署から署員の方を2名お招きし、全校を対象とした「防犯教室」を開催しました。今回の教室では、現代の子どもたちを取り巻く大きな課題の一つである「インターネットの安全利用」と、身近な問題である「万引きなどの犯罪行為の防止」について、詳しくご指導いただきました。

インターネットの利用については、スマートフォンやタブレットが普及する中、便利さの裏に潜む危険性についてお話がありました。自分が発信する情報に対する責任や、情報社会での正しい行動について考えるよいきっかけとなりました。言葉一つ、写真一枚が誰かを傷つけたり、



思わぬトラブルに巻き込まれたりすることを、警察の方の具体的なお話を通して子どもたちは深く理解した様子でした。

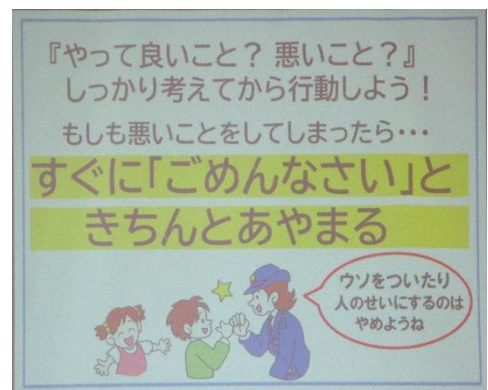
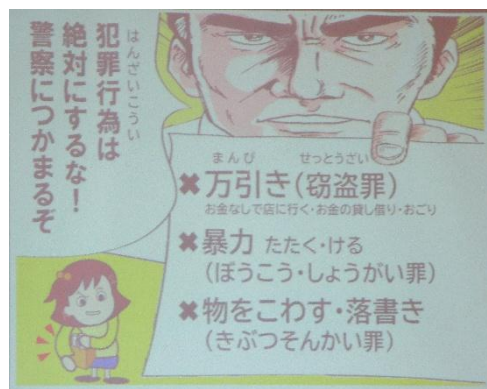
また、小学生による万引き事案が増加傾向にあるという深刻な実態についても触れられました。「どんな理由があっても、犯罪行為は絶対に許されないこと」であると強く念押ししていただき、子どもたちは真剣な表情で耳を傾けていました。

万が一、過ちを犯してしまったときは、言い訳をせず、自分の非を素直に認め、「ごめんなさい」と心から謝罪することの

大切さについてもご指導いただきました。間違いに気付いたときに正す勇気をもつことは、人として成長する上で非常に大切なことです。これは、**私たち大人も同じです。**

学校では、子どもたちが法やきまりを守り、自他の命と尊厳を大切にできる心を育てるため、引き続き指導を重ねてまいります。しかし、インターネットの利用時間や使い方、日々の生活習慣や規範意識の育成においては、ご家庭での見守りや声掛けが何よりも不可欠です。

今回の防犯教室を一つの機会とし、ご家庭でも今一度、スマートフォンやタブレットの利用ルールについて話し合っていたいただければと思います。



校内には「わくわくスポット」がたくさん

「今月の目標は何か？」——毎月、保健室前で足を止める子どもの姿があります。季節や体の成長に合わせた掲示物は、楽しみながら健康への意識を高める工夫がいっぱいです。

一人一人の健やかな成長を、保健室から見守り支えています。



6年生の図画工作「いつもの学校が変身」では、校内の見慣れた場所の形や特徴を生かし、身近な材料を使ってわくわくする空間へと作り変える学習をしています。写真は6年C組の作品です。



登下校時の安全やマナーについての確認を

先日、本校の子どもが下校途中に「店舗に向かって石を投げてきた」という大変残念な苦情が学校に寄せられました。

幸いにも今回は、大きな事故や器物の破損には至りませんでした。万が一店舗のガラスを割ったり通行人に怪我をさせたりした場合には、法律上の「器物損壊罪」や「過失傷害」といった大きな問題に発展しかねません。

学校では、日頃から登下校時の安全指導やマナーについて繰り返し指導を行っております。ご家庭におかれましても、**はとの子の誇りをもった登下校の在り方**について、今一度、お子さんと話題にしてください。特に確認していただきたいことは以下の3点です。

- ①「石や物を投げる」行為がどれほど危険で、他人に迷惑を掛けるかということ。
- ②公共の場所や他人の財産を大切にすること。
- ③寄り道をせず、安全にまっすぐ下校すること。

子どもが地域社会の中で温かく見守られ、安心して健やかに成長できるよう、ご家庭でのご指導もよろしくお願いいたします。